

ビームライン・実験装置 評定票

評価委員名	構造物性分科		
ビームライン名	BL-1B	ビームライン担当者名	中尾 裕則
課題数	適切		
混雑度	1倍から1.5倍		
主な研究手法、研究分野とビームライン担当者の位置付け	A 構造相転移 B 構造解析 c	分野の中核 分野の一人 分野をリード、分野の中核、分野の一人、分野外	

ビームラインの性能等について

適切に保守、整備されて、本来あるべき性能を発揮しているか	4 ほぼ性能を発揮
取扱は容易か	5 容易
取扱説明書は整備されているか	4 やや充実
性能・仕様等で特記すべき点、他施設と比較して特記すべき点	PF できわめて 標準的なビームラインである。
改良・改善すべき点	

実験手法のビームラインとの適合性・研究成果について

※1：光源、ビームライン光学系と研究手法は適合しているか。

手法 a	適合性 (※1)	4. 適切				
	研究成果	4. 高い				
手法 b	適合性 (※1)	4. 適切				
	研究成果	4. 高い				
手法 c	適合性 (※1)	5. 最適	4. 適切	3. 妥当	2. やや不適	1. 不適
	研究成果	5 極めて高い	4. 高い	3. 妥当	2. やや低い	1. 低い
総合評価	研究成果	4. 高い				
	世界の状況と比較しての評価、ビームライン性能が律速となっている場合はその指摘	<p>低温かつ高圧下での実験が自由に行えている、構造物性関連のビームラインとしては、世界の中でもトップクラスと考えられる。</p> <p>ビームラインの性能の中でしか使うことができないがもう少し、高エネルギー側の X 線が利用できればよい実験も中にはある。</p>				

実験装置の性能等について

使用している実験装置名(a)	MPD									
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を發揮しているか	5	フル性能を發揮	4	ほぼ性能を發揮	3	まあ性能を發揮	2	改善の余地あり	1	改善が必須
取扱は容易か	5.	容易	4.	やや容易	3.	普通	2.	やや難	1.	難
取扱説明書は整備されているか	5.	充実	4.	やや充実	3.	普通	2.	やや不足	1.	ない
性能、仕様等で特記すべき点	付属品が充実しており、さまざまな極限下での実験が行える態勢になっている。									
改良・改善すべき点	多極限下での実験が、自在に行うことができるが多目的に装置を使っているがために 使い勝手はあまりよくない。今後、装置の取り扱いが容易なものに発展させより多くのユーザーに 容易に任意の条件下での実験が行えるようにしていきたい。									

使用している実験装置名(c)										
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を發揮しているか	5	フル性能を發揮	4	ほぼ性能を發揮	3	まあ性能を發揮	2	改善の余地あり	1	改善が必須
取扱は容易か	5.	容易	4.	やや容易	3.	普通	2.	やや難	1.	難
取扱説明書は整備されているか	5.	充実	4.	やや充実	3.	普通	2.	やや不足	1.	ない
性能、仕様等で特記すべき点										
改良・改善すべき点										

使用している実験装置名(b)										
適切に保守、改善されて、本来あるべき性能を發揮しているか	5	フル性能を發揮	4	ほぼ性能を發揮	3	まあ性能を發揮	2	改善の余地あり	1	改善が必須
取扱は容易か	5.	容易	4.	やや容易	3.	普通	2.	やや難	1.	難
取扱説明書は整備されているか	5.	充実	4.	やや充実	3.	普通	2.	やや不足	1.	ない
性能、仕様等で特記すべき点										
改良・改善すべき点										

今後のビームラインのあり方について

今後の計画の妥当性について	装置の性能はフルに、出し切っているが、老朽化対策が必要である。 また、当装置の成功を元に 現在新しい装置を設計 製作中である。 今後、ユーザーの動向により もっと高エネルギー領域がつかえるビームラインの利用や より高強度の利用できるビームラインの利用等が考えられる。
今後5年間に	余裕があれば 予算投入
その他今後の計画に付いての意見	本ビームライン、ステーションは、低温かつ高圧下での実験が効率よく行えており、構造物性関連のビームラインとしては世界の中でもトップクラスである。今後としては、老朽化に対応する程度の現状維持で研究を進めてほしい。近年立ち上がったビームラインであり、ユーザグループを見ると成果としてはこれからが期待できる。(1999年以降から論文が順調に出始めている)